

林野庁  
プレスリリース

10月1日	鹿野農林水産大臣の国内出張について
10月1日	小笠原諸島世界自然遺産候補地地域連絡会議の開催等について
10月1日	「第5回 森林組合改革・林業事業体育成検討委員会」の開催及び傍聴について
10月5日	「第4回 国産材の加工・流通・利用検討委員会」の開催及び傍聴について
10月7日	「第8回森林・林業基本政策検討委員会」の開催及び傍聴について
10月12日	「2011 国際森林年」日本語ロゴマークについて
10月12日	「気候変動枠組条約次期枠組みに関する特別作業部会」の開催結果について
10月14日	「平成22年度 第1回 林政審議会 施策部会」の開催及び一般傍聴について
10月15日	「第20回 FAO 林業委員会」の結果について
10月15日	「第6回 森林組合改革・林業事業体育成検討委員会」の開催及び傍聴について
10月15日	「第7回 路網・作業システム検討委員会」の開催及び傍聴について
10月18日	田名部 農林水産大臣政務官の国内出張について ～COP10サイドイベントへの出席について～
10月19日	〈2011 国際森林年関連事業〉国際森林映画祭の作品募集について
10月19日	「森林保全と気候変動に関する閣僚級会合」の開催について
10月21日	「第6回 人材育成検討委員会」の開催及び傍聴について
10月22日	「林政審議会」委員の公募について
10月27日	「森林保全と気候変動に関する閣僚級会合」の結果について



本誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

毒きのこに  
注意!一口メモ  
林野庁

今年は、毒きのこによる食中毒が多数発生しています。

日本の毒きのこの種類は200種以上あると言われていますが、実際に起こっているきのこ中毒事故は、ほぼ10種以内のきのこが原因になっています。ツキヨタケ、クサウラベニタケ及びカキシメジによる中毒例が多く、いずれも消化器系障害型(嘔吐、下痢、腹痛など)の症状を起こします。

また、死亡事故の多くはドクツルタケやタマゴタケモドキなどのテングタケ類によって発生しています。毒きのこによる食中毒事故を防ぐには、まず、中毒件数の多い種類や命に関わるような危険な種類を優先的に覚えることなどが大切です。

これから冬に向かいますが、油断せずに注意を払いましょう。

- 知らないきのこは採らない、絶対に食べない。
- きのこの特徴を覚える。
- 専門家のアドバイスを受ける。
- 「柄が縦に裂けるきのこは食べられる」などの誤った言い伝えや迷信を信じない。

(参考になるホームページ)

○厚生労働省 ～自然毒のリスクプロファイル～  
[http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/poison/kinoko\\_11.html](http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/poison/kinoko_11.html)

○農林水産省 ～毒きのこデータベース～ (滋賀大学にリンク)

<http://www.edu.shiga-u.ac.jp/db/kinoko/>

○日本特用林産振興会 ～毒きのこ～  
<http://www.nittokusin.jp/kinoko/contents/poison/poison.html>



クサウラベニタケ

いずれも  
毒きのこ

ニガクリタケ